

教育研究所だより

宮古島市立教育研究所
 指導主事 砂川 睦紀
 宮古島市平良字西里1140
 TEL 73-1104

運動療育を活用した特別支援指導員派遣プログラム

さかえ たかゆき

栄 孝之先生(レジリエンス・スポーツセンター代表)を招聘しての本プログラムは、11月までに計4回9校で巡回をさせていただきました。今回は9月巡回の様子をかんとんに紹介させていただきます。

☆ 9/14 鏡原中学校(午前)・上野中学校(午後) 9/15 久松幼稚園(午前)

宮古島市立鏡原中学校 9:00~12:30

鏡原中学校では、2, 3校時に特別支援教育コーディネーターの前川尚代先生の案内のもと、全学級の授業の様子を参観させていただきました。その後校長室にて校長、養護教諭、特別支援教育コーディネーター参加の下、栄先生と研究所長よりフィードバックが行われました。



宮古島市立上野中学校 13:30~16:45

上野中学校では、支援学級担任の宮国貴子先生から対象生徒の様子などを聞き取りながらの参観でした。また、渡久山校長の案内で全学級の授業の様子も参観させていただきました。運動療育面からのフィードバックの中で、体を使った「表の動き」と「裏の動き」をバランス良く取り入れることなどの提案がありました。



宮古島市立久松幼稚園 9:00~12:30

久松幼稚園では、仲地一美先生から対象となる園児の様子を聞き取りながら、園庭で遊びこむ園児たちを参観させていただきました。活動後には、効果的なストレッチや体ほぐしについて先生方へレクチャーする場面も見られました。



～事後アンケートより～

○生徒の見立てやアドバイスが的確で分かりやすかった。運動指導の仕方が今後の実践に役立つ内容でした。また丁寧に分かりやすく助言して頂き、大変勉強になりました！

○全職員に校内研修して生徒理解や授業改善につながれたらいいなと思いました。次回も是非、お願いします。

○自閉症や麻痺、難聴や発語なしという、様々なハンデがある対象児に対しての療育方法を学ぶことができ、栄先生に感謝しております。対象児が遊び込む姿から、身体の使い方によっては支えが必要で、大きな動きには、周りの安全性の配慮が必要なことなど、丁寧にご教授していただきました。日々の生活、遊びの中で、感覚欲求を満たし遊び込めるよう環境を整え、危険なことはサポートしてあげるなどの細やかな配慮が必要なものも知ることができました。活動を終え疲れた対象児をマットに横になってもらい、麻痺のある箇所のマッサージやほぐし方、左右の足の長さに差がある状態を数秒で同じ長さに矯正し、驚きと共に私たちにもすぐにできると嬉しく思いました。対象児も気持ち良さそうに体を預け、今にも眠ってしまいそうな姿が微笑しい一面でした。後日、保護者と共に矯正方法を行い、保護者も為になると喜んでもらうことができました。フィードバック時に、栄先生の一言目に「とても素晴らしい子です」と、目を輝かせておっしゃっていただけただけの時、心躍るほど嬉しくなりました。不安が軽減し、関わり方のイメージが膨らんできたので、今後実践していこうと思います。